

鳥取県におけるCKD医療連携



鳥取県代表 宗村千潮

2022年12月

鳥取県におけるCKD対策の取り組み

一般住民に対する啓発活動

山陰労災病院の世界腎臓デー in 米子
2013年～
鳥取県腎友会の県民健康講座CKD講演会
年1回 2015年～
市町村の福祉保健課が行うCKD講演会
ケーブルテレビが行う地域住民への健康講座
各病院が単発で地域住民へのCKD講演会

医師に対する啓発活動

製薬メーカー主催の単発の地域医師会の医師へのCKD講演会
鳥取県健康対策課によるCKD対策研修会
鳥取県健康対策協議会によるCKDリーフレットの配布
2014年、2016年、2019年に実施

自治体との連携

特定健診で要受診者に自治体から腎臓内科の在籍する医療機関のリストを添付して腎臓専門医受診を勧める用紙を送付
一部自治体と提携して、特定検診で要受診者が希望したら自治体の費用負担で腎ドッグを実施

CKDリーフレット

CKD患者を専門医に紹介するタイミング

発行：鳥取県健康対策協議会(令和元年改訂)

①尿所見、顕微鏡、血尿、尿蛋白の存在が明らか、特C0.15g/gCr以上の尿蛋白(30mg/gCr以上のアルブミン尿)の存在が重要
②GFR<60mL分/1.73m²
※①、②のいずれか、または両方が3カ月以上持続

健診 ⇒ かかりつけ医・かかりつけ医療機関等 ※表1 紹介基準を参照

かかりつけ医
① eGFR60以上、かつ、蛋白尿(±)
② eGFR45-59、かつ、蛋白尿(-)
③ かかりつけ医、または、腎臓専門医への受診を強く勧奨する(オレンジ色ステージ)
④ eGFR60以上、かつ、蛋白尿(+)以上
⑤ eGFR45-59、かつ、蛋白尿(±)
⑥ eGFR30-44、かつ、蛋白尿(+)
⑦ eGFR30未満(蛋白尿区分を問わない)

腎臓専門医
① eGFR45-59、かつ、蛋白尿(+)以上
② eGFR30未満(蛋白尿区分を問わない)

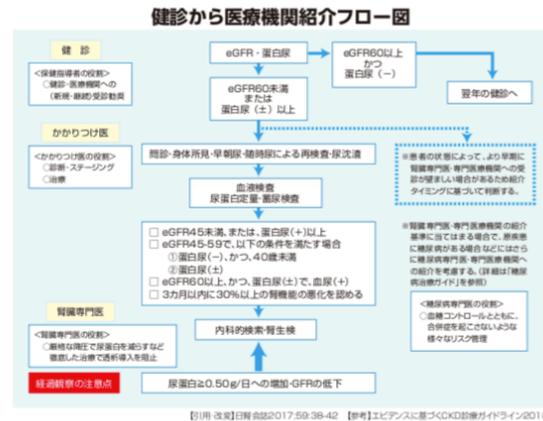
かかりつけ医 ⇒ 腎臓専門医・専門医療機関 ※表1 紹介基準を参照

① eGFR45未満、または、蛋白尿(+)以上
② eGFR45-59で、以下の条件を満たす場合
※ 40歳以上は、かかりつけ医での生活指導・診療継続
③ 蛋白尿(-)、かつ、40歳未満
④ eGFR60以上、かつ、蛋白尿(±)で、血尿(+)
※ 血尿(-)ならば、かかりつけ医での生活指導・診療継続
⑤ 3カ月以内に30%以上の腎機能の悪化を認める

表1 CKDの重症度分類とかかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準

原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン/尿量(mg/日)	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
	尿アルブミン/Cr比(mg/gCr)	30未満	30-299	300以上
	尿蛋白量(g/日)	正常(-)	軽度蛋白尿(±)	高度蛋白尿(+)
高血圧 腎臓病 その他の	尿蛋白/Cr比(mg/gCr)	0.15未満	0.15-0.49	0.50以上
	G1 正常または高値	≥90	75-89	60-89
	G2 正常または軽度低下	60-89	45-59	30-44
	G3a 軽度～中等度低下	45-59	30-44	15-29
	G3b 中等度～高度低下	30-44	15-29	<15
G4 高度低下	15-29	<15		
G5 末期腎不全	<15			

※重症度は原疾患・GFR区分・尿蛋白区分を合わせたステージにより評価し、死亡、末期腎不全、心血管発症のリスクを緑色のステージを基準に、黄、オレンジ、赤、黒の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。
【引用】改訂エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018(作成：日本腎臓学会、監修：日本医師会)



鳥取県内の腎臓専門医所属医療機関一覧

地区	医療機関名	住所	氏名	診療科
東部	さとに田園クリニック	鳥取市里C 54-2	太田 匡彦	内科
	鳥取赤十字病院	鳥取市尚徳町 117	小坂 博基	内科
	鳥取県立中央病院	鳥取市江津 730	真藤 規太郎	内科
	松岡内科	鳥取市江津 730	宗村 千通	腎臓内科
中部	のくち内科クリニック	倉吉市上井町 1丁目6-5	野口 志太郎	腎臓内科
	山体内科病院	倉吉市高川町 2丁目76	山本 了	腎臓内科
	えすます内科小児科クリニック	米子市安徳 38-2	上野 次郎	内科
	上福原内科クリニック	米子市上福原 578-6	徳本 明秀	内科
西部	山陰労災病院	米子市衛生通 1-8-1	中野 明久	腎臓内科
			矢田 良 千尋	腎臓内科
			山本 真	腎臓内科
			藤田 佐香子	腎臓内科
	鳥取大学医学部附属病院	米子市西町 36-1	高田 知朗	腎臓内科
			井山 拓也	腎臓内科
	ふくいのクリニック	米子市上福原 2-17-20	藤井 敏郎	腎臓内科
	米子医療センター	米子市車庫 4丁目17-1	眞野 勉	腎臓内科

物を選ばない推し

自己負担で腎機能低下(ただし)不安に減量

下痢で嘔吐し難い

ノファイブ

2与量を減

7薬の併用

腎臓が必要で治療した。

汎血球減少

アジチンや

DmL/分)で

である。

は、高血圧機能

である。

は、腎臓の一部

CKDアンケートの実施
県内の3医師会の会員に対してCKD対策の現状把握、専門医への要望等を目的としたアンケートを実施

鳥取大学医学部附属病院に腎センター設立
2022年4月に設立
CKDの普及啓発活動
人材育成
鳥取県より人件費の半額を拠出